

授業科目名： 獣医学特別演習（東京農工大学）		単位数 1 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1・2・3・4 年次前期・ 後期	授業形態： 演習科目	開講形態： 東京農工大学独自開講	
授業のテーマ及び到達目標： 日本及び世界を代表する研究者の講演を聴講し、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈、発表方法などについて学ぶ。			
授業の概要： 最先端の研究を行っている研究者の講演会等に参加し、より先進的な研究を発案する力及び新しいものを生み出すイノベーション力を養成する。			
授業計画： 自大学他組織や、他大学・大学院などにおいて、開催される1単位相当の講義、講演会、シンポジウム等に参加し、獣医学に関連した最先端の知識を身につけ、より先進的な研究を発案する力、及び新しいものを生み出すイノベーション力を養成する。自身の研究テーマ、研究の進行状況等を鑑み、研究をさらに推し進めるために必要な知識、実験技術について自ら検討を行い講義等の参加スケジュールを立案し、それを基に主指導教員と議論の上、参加する講義、講演会、シンポジウムを選択する。さらに、優れた研究者の発表を聴講することで、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈、及び発表方法などについても学ぶ。 このため、合計15時間以上の講演会あるいはシンポジウムなどに参加し、聴講した講演を詳しく分析し、自身の研究にどのようにその内容を取り入れることが可能かを考察した上で、聴講した講義などの内容の発表を行い、レポートを作成し、主指導教員による評価を受ける。 (1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン (2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学 (3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル (4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 (5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 (6 永田 典代)			

人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症

(7 藤川 浩)

食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全

(8 町田 登)

不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化

(9 水谷 哲也)

家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症

(10 李 天成)

人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学

(11 渡辺 元)

ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱

(26 小山 哲史)

動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度

(27 佐々木 一昭)

薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療

(28 佐藤 俊幸)

至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動

(29 清水 美希)

運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物

(30 鈴木 和彦)

病理、疾患モデル、線維化、腎臓

(31 田中 知己)

繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜

(32 田中 綾)

医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術

(33 谷口 隆秀)

発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断

(34 永岡 謙太郎)

ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化

(35 西藤 公司)

皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素

(36 林谷 秀樹)

集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態

(37 福島 隆治)

心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物

(38 古谷 哲也)

動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御

(39 吉田 敏則)

脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん

(48 石原 加奈子)

食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析

(49 井手 香織)

血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境

(50 大松 勉)

感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫

(51 大森 啓太郎)

免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬

(52 岸本 海織)

画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：講演会などの参加状況、態度とレポートなどにより総合的に評価する。